

2025 年度 武庫川女子大学大学院 修士課程【一般前期募集】入学試験
健康・スポーツ科学研究科健康・スポーツ科学専攻

○出題意図

【専門科目】

《1》持続可能な社会の実現に向けてスポーツがいかなる役割を果たす可能性があるか、スポーツを競技面にとどまらない社会的存在として考える視点や知識の有無を問うことが目的である。解答例では実際の事例をあげたが、事例をあげてもあげなくても次の点が論理的に論述されていれば高評価になる。戦略的視点をもって、社会課題など外部環境の認識→組織の内部環境分析→コア・コンピタンスの認識→社会課題解決ツールへの転用（持続可能な社会実現への貢献）という道筋を自分なりに示して、社会的存在としてのスポーツの可能性について論理的に記述することが求められている。

健康・スポーツ科学研究科への進学に際し、健康・体力に関連する一般的な知識を問う。

《2》〔評価のポイント〕

我が国が取り組んできた健康増進施策の変遷を理解し、一般的な運動処方 기본적인考え方が理解できているか。また高齢者という特殊性に配慮した内容になっているか。さらに週1回の運動ではあるが、3ヶ月という期間を継続するうえでの動機付けが工夫されているか。

1. 3ヶ月間の運動教室では、教室のねらいを反映した運動プログラムにどのような工夫を考えているか。
2. 90分間のプログラムで①ウォーミングアップ、②主運動、③クーリングダウンの基本的な枠組みを設定しているとともに適切な時間配分がなされているか。
3. ②の主運動では教室のねらいが達成できる運動プログラムが立案されているか。

【外国語（英語）】

本問題は、女性の健康問題に関する医学・生理学・薬理学・心理学の複合的内容を含む英文を正確に理解し、日本語として論理的に再構成する能力を評価することを目的としている。特に、単語レベルの逐語訳ではなく、性差医療やホルモン、疾患リスク、薬物代謝などの専門的概念を文脈に即して適切に処理できるかを問う。また、列挙構造や因果関係、対比表現を把握し、情報の過不足なく訳出する総合的な読解力・表現力を測定する意図がある。